

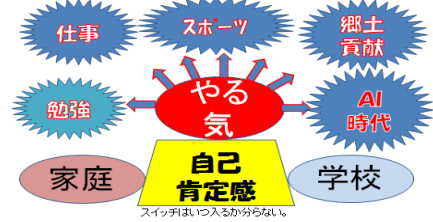
本城の風



平成30年11月 日
第7号
串間市立本城小学校
校長 新坂 靖典

先日の参観日の全体懇談では、児童の「やる気スイッチ」についてでした。やる気は、自己肯定感が土台となり、土台に応じてやる気は大きくなります。自己肯定感（自分が大好き）という感覚は、小学校のころに学校と家庭で育てるのが効果があります。学校では一人一人の児童に賞賛の場をたくさん作ろうとします。本城小の規模は、単式学級で10人前後の恵まれた環境にあります。対外的な表彰や新聞掲載の賞賛の場が児童の自己肯定感につながります。家庭では、児童の個性を理解して褒める機会を多くしましょうとのことで、お子さんの個性の捉え方について元くろしお支援学校の元校長先生である谷口先生にお話をいただきました。

やる気(自己肯定感)をどう育てるか



小規模校のよさ⇒ **1人1人に目がいき届く教育**

①賞賛の場

- 学校内・学級内・授業(児童の100%)
- 対外的
(入賞21・学校代表20・便り20・新聞13+11等)

現在(半年)で児童の**70%**

②トラブル⇒(最終的に解決。過程が大切)
不登校=0

今月のトピックス



市民祭りパレードで、5, 6年生が、運動会で踊った本城ソーランを披露しました。スタートから最終まで途中で、10回以上も踊った子どもたちは、お疲れ様でした。たくさんの人の声援を受けて祭りを盛り上げました。



本城イルミナイトがいこいの里で行われました。イルミネーションの点灯式に、田村あやのさんと比嘉りゅうのすけさんが参加しました。目標通りの1000人の参観者が集まり、出店も7時には売り切れの大盛況だったようです。



本城地区の小、中、高校生が集まって、串間学 本城ウオーラリーがありました。串間学で学習してきたことをみんなで再学習しました。小学生は、中学生、高校生と一緒に活動できて、とても楽しそうでした。

<11, 3 市民祭りパレード >

<11, 10 本城イルミナイト>

<11, 16ウオーラリー>

ふれあい体験(11月 5年)

5年生は、青島少年自然の家に2泊3日の集団宿泊訓練に行きました。串間市内の小学5年生が集まり、混成の班を作って、一緒に活動をしました。



普段はできないいろいろな体験を新しくできた友達と楽しむことができ、中学校へ向けての貴重な準備となりました。



<7月の主な行事>

--	--

小規模校のよさ⇒

**1人1人に目が
いき届く教育**

① **賞賛の場**

- 学校内・学級内・授業(児童の**100%**)
- 対外的
(入賞21・学校代表20・便り20・新聞13+11等)

現在(半年)で児童の70%

② **トラブル**⇒(最終的に解決。過程が大切)